

広報

急流と鍾乳洞の里「球磨村」
Kuma Village Public Relations

12

2015.12 No.277

くまむら



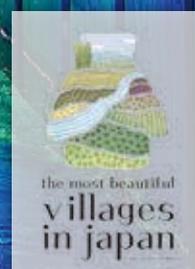
Smile 球磨村駅伝チーム

2015年

球磨村 10大ニュース

特集

農・マイ・ライフ



球磨村は
「日本で最も美しい村」連合
に加盟しています

* Monthly Pick Up Topics *

267 人が球磨川のほとりをウォーキング エメラルドグリーンウォーク



たくさんの人に参加していただきました

日本で最も美しい村のエメラルドグリーンウォークは11月23日、くま川下り渡発船場から球泉洞までの約12kmのコースで行われ、参加者は紅葉していく景色を楽しみながら球磨川のほとりを歩きました。

鵜口観音堂や柴立姫神社では、地域の皆さんによる「おもてなし」がありました。一勝地阿蘇神社では小川量さんによるハーモニカ演奏があり、弁当を食べながら演奏を聴く参加者もいました。ゴールの球泉洞では、熊本城おもてなし武将隊の特別演武もあり、最後まで楽しむことのできたウォーキングとなりました。

今月の表紙



球泉洞では、洞内に続くトンネル200mを45,000球のLEDイルミネーションが彩っています。虹色に輝く幻想的な空間を体感してみませんか。来年2月までは、金曜、土曜に限り、冬季限定「夜の冒険コース」（予約制）を実施していますので、一味違った冒険を試してみたいかがでしょうか。

広報 くまむら

急流と鍾乳洞の里「球磨村」

球磨村は熊本県の南部にあります。九州最大の鍾乳洞「球泉洞」や村の中央を球磨川が流れ、眼下に雄大なパノラマが広がる自然豊かな遊びの宝庫です。穏やかに、緩やかに、人と自然が調和した悠久のロマンが、今も受け継がれています。

12月号の目次

- CONTENTS -

2015 年球磨村 10 大ニュース	03
【特集】 農・マイ・ライフ	04-09
Kuma Village Topics	10-11
第1回家族介護教室／スクールコンサート／歴史研究サークル／税の習字表彰／県生涯スポーツ功労者・優良団体表彰／特別叙勲／地域未来塾／人吉球磨時感の旅 MONTH	
情報の窓口	12-13
水道管を寒さから守りましょう！ 包括だより	14
陽だまり	15
球磨村社会福祉協議会	16
球磨村青年団／文芸の広場／戸籍の窓	17
今月のレシピ／乳幼児健診／年金相談会／休日在宅当番医	18
行事予定／球磨村公民館図書館	19
Smile ～笑顔で輝く球磨人～ 編集後記	20

2015年

球磨村 10大ニュース

ことしもたくさんの出来事がありました。この一年を写真とともに振り返ります。



1月14日

人吉球磨定住自立圏形成協定の合同調印式が行われました。



4月24日

「相良 700 年が生んだ保守と進取の文化」が日本遺産に認定されました(写真は神瀬住吉神社)。



3月10日

県指定天然記念物「神瀬の石灰洞窟」が郡市初の国名勝に指定されました。



2月7日

渡地区浸水軽減対策関連事業の完成式が行われました。



8月25日

台風 15 号が上陸し、村内各地で災害が発生しました(写真は松野地区)。



6月21日

松谷棚田で棚田オーナー制度の田植え体験が行われました。



4月26日

急流と鍾乳洞の里まつりは、子どもたちが楽しめる催しで盛り上がりました。



10月24日・25日

ふれあいまつり‘くまむら’は、多くの来場があり盛り上がりました。



10月4日

3年ぶりに開催の村民体育祭では、地域の住民同士親睦を深めました。



9月27日

地域住民や消防団、防災関係機関による総合防災訓練が実施されました。



特集

農・マイ・ライフ

高齢化や担い手不足、それに伴う耕作放棄地の増加など、
多くの課題を抱える村の農業。

そんな中、村の農業に新しい風が吹いています。

村の農業振興のために、男女8人が立ち上がりました。

今回、村の農業と真剣に向き合う彼らの熱い思いを紹介します。

全国で増加している就農者

今、農業を始める若い世代が増えてきています。農林水産省の「平成26年新規就農者調査」によると、平成26年の新規就農者は、5万7650人で、平成22年以降5万人台で推移している状況です。このうち49歳以下は、2万1860人で、平成19年以降最も多くなりました。最近では、農業を始める女性も増えており、「農業女子」として注目を集めています。

まさに「農業ブーム」と言えるほどに、全国で農業の人气が高まっています。高齡化や後継者不足が深刻な本村の農業事情は、そう甘くありません。5年に一度行われる「農林業センサス」によると、本村の農家数は、平成2年に951戸あったのに対し、平成27年は461戸までに減り、25年間で約半数になっています。

村の農業界に吹く新しい風

多くの課題を抱える本村の農業ですが、ここ数年、就農する若者が少しずつ増えてきています。ことし5月には、若手就農者8人で、新しい取り組みを開始。「農業を心から愉しむ」という熱い思いが込められた「球磨村農愉会」を結成しました。

農愉会の活動

村の農業の希望の光ともいえる、若手就農者の熱い思いが集結した、農愉会の活動を紹介します。



農業にかける熱い思いを胸に
活動スタート

農愉会は、ことし5月に総会を開催し、正式に会を結成しました。6月の例会では、柳詰正治村長も各会員の園や畑などを巡回視察。それぞれの現状や課題を把握しました。7月には、県南地域で進めるフードバレー構想の拠点施設でもある、フードバレーアグリビジネスセンター（八代市）を視察し、活用方法などを施設担当者と協議しました。10月のふれあいまつりぐまむらでは、会員が生産した野菜や果樹の直売や、まつりイベントの丸太切り大会に参加するなどして、活動をアピールしました。農作業にとどまらず、作物の垣根を越えての活動や会の宣伝など、農業にかける若手就農者の新たな活動が始まりました。

1農愉会の各会員の園や畑などを巡回視察 2ふれあいまつりぐまむらでは、農愉会で丸太切り大会に参加 35月に開催した総会で正式に「球磨村農愉会」を結成 4「くまもと産直市場」が設置してある、西鉄ストア（福岡県）へ視察研修 5フードバレーアグリビジネスセンター（八代市）へ視察研修。同施設の活用方法などを学ぶ



Interview



球磨村農愉会
会長 大重 一成 さん

新規就農者の仲間と情報交換を行い、農業についてさまざまな視点から学んでいくことを目的に「球磨村農愉会」を設立しました。合わせて制作した農愉会ロゴマークは、会員が生産するイチゴやナシの花を「のうゆかい」の文字でイメージしています。

農愉会の会員は、野菜や果樹、畜産など、それぞれ別のものを生産しています。農業をやっていく中で、それぞれ一人では解決できない課題も多く出てきます。そのような課題に会員同士、知恵を出し合いながら解決に向けて取り組んでいきたいですね。

最近では、他団体の皆さんにも、少しずつ活動を知ってもらえるようになってきました。周りからの期待も感じるので、仲間と協力しながら村の農業振興につなげていきたいです。



農愉会ロゴマーク



まいとこ ともかず
毎床 智和 さん

Profile

平成 26 年に就農し、実家のナシ園を継ぐ。同級生会長を支える副会長。

「ナシ園に生まれた以上、どうにかしていきたい」という思いで、自動車関係の職を辞めて就農しました。ナシ園を継ぐことになり、妻が理解してくれたのが一番でした。本当に感謝しています。小さい頃からナシ園の手伝いをしていたので、抵抗なく就農することができました。毎床地区は、百年以上の歴史ある一勝地梨の生産地です。その歴史の一ページに私自身が携わっていただけることは、とてもうれしいことです。就農後は、山あり谷ありでしたが、どうにかナシ園を軌道に乗せて、最高のナシを生産していきたいです。



いんどろ かずなり
犬童 一成 さん

Profile

平成 23 年に就農し、実家のナシ園を継ぐ。農愉会の初代会長。

4年前、父の死をきっかけにナシ園を継ぐことになりました。当初は戸惑いもありましたが、「父がいないから犬童家は駄目になった」と思われたくなかったので必死に頑張ってきたつもりです。ナシの生産は、自分が作ったものを販売し、お客さんに買ってもらうので、すごくやりがいを感じます。農業は自分が頑張った分だけ成果が形に現れます。つくづく不思議なものだと思います。この4年間は本当にあつという間で、ナシと真剣に向き合うことのできた4年間でした。これからも努力を惜しまずナシ作りに励みます。



農を愉しむ者たち

就農するきっかけはそれぞれ違います。しかし、農業に熱い思いを持って取り組んでいる姿は、みんな一緒です。



たなか ひろあき
田中 浩章 さん

Profile

平成 25 年に Uターンして就農し、実家のシイタケ栽培やクリ園を継ぐ。

祖父の代からシイタケやクリを生産しています。私自身、長男でもあるし、いつかは継がなければならぬと思っていて、2年前に Uターンして就農することになりました。シイタケは原木栽培をしていて、玉切りから駒打ち、収穫と年間を通しての作業になります。同時進行でクリ園も手掛けながらの作業になるので大変さはあります。だけど、しっかり手を掛けて作業することできる。これからも家族で協力しながら、おいしいシイタケやクリを作りたいです。



うちぬの たつのり
内布 龍法 さん

Profile

平成 22 年に就農し、露地野菜や水稲、イチゴの栽培に励む最年少会員。

高校卒業後、農業大学校に進学し、農業について学びました。小さい頃は、家の手伝いもほとんどせず、正直、農業にも興味がありませんでした。だけど、就農してみても少しづつ農業の魅力が分かってきました。農業は努力したらした分成果は出るし、さぼったらその分失敗します。特に自分の考えが成果に現れた時は、本当にうれしいです。就農して5年が過ぎましたが、まだまだ農業の「おもしろさ」も「苦しさ」も分かりきっていないと思います。これから失敗や成功を繰り返しながら、一人前になっていきたいです。



おおむた みわ
大無田 美和 さん

Profile

平成 25 年に就農し、畜産や露地野菜栽培に励む唯一の女性会員。

「親が病気で体調を崩したことで就農を決意しました。もともと動物が好きだったので、就農することに抵抗はありませんでした。野菜作りは、天候などにも左右されて収入が安定しなかったり、畜産は、生き物相手なのでほったらかしにできなかつたりと、苦労するところもあります。ただ就農してからは家族との時間が増えました。農業にはそんなメリットもあります。農業は努力した分だけ成果がでません。就農後は毎日が勉強で、新しい発見もたくさんありました。これからも自分で考え、周りの人たちに教わりながら農業を楽しみたいです。」



おおむた みつゆき
大無田 光幸 さん

Profile

平成 26 年に就農し、実家のナシ、クリ園を継ぐ。

「うまくいったら、農業でもやっていける」。いろいろ考えてきた中で就農することを決意しました。私の家は農業をやる環境が整っていません。昔から農業に興味があり、せっかくなものだから、無駄にはできないと思っていました。農業の魅力は、自分が一から手をかけて、収穫、出荷までを見届けられるところです。今は本当に毎日の作業が楽しいです。ことしは、春先の雨や台風など、天候に泣かされました。でもその分勉強できた一年だったので、この経験を今後になかしていききたいですね。」



おがわ さとし
小川 聡 さん

Profile

田舎の体験交流館さんがうら職員。農業とは別の視点から会員をサポート。

「村の農業のために頑張りたい」という若手就農者の姿を見て、私も一緒に頑張りたいと思いました。毎日野菜の成長を見ることができ、それが農業の魅力だと思います。自分で作ったものを、自分の手で収穫する喜びは、作った人しか味わえない特権です。私は就農していませんが、将来的に会員の皆さんが生産したものをブランド化し、ウェブサイトなどを立ち上げるなどして、販路拡大に関わっていかれたらと思っています。農協が大きく成長するために全力でサポートしていきます。」



おおむた まさのり
大無田 政徳 さん

Profile

平成 24 年に就農し、家族とともにナシ園を経営。

「地元に戻って、地域のために仕事をしたい」という思いで、就農を決意しました。初めは家のナシ園の手伝いをしながらでしたが、少しずつナシ作りの魅力にはまっていきました。農業は大変ですけど、自分が作ったナシを食べた人から「おいしかった」「また食べたい」という声を聞くと、本当にうれしいです。やりがいも感じるし、また頑張ろうと思います。就農して3年、試行錯誤しながら多くのことを学ぶことができました。これからも安定した経営ができるように努力していきます。」



これから 将来を考える

農愉会では、ワークショップを開き、これからやりたいことを自由に提案し、実際に何から実行できるか、「お金」と「時間」の両面から考えました。

お金

時間：小 お金：大

- 農愉会ロゴ入りシールや袋の作成
- 研修の充実
- 各自の農場に農愉会ののぼり旗を立ててアピール

時間：大 お金：大

- ウェブサイト運営・販売
- 農産加工グループとの商品共同開発
- 独自の肥料を作る

時間

時間：小 お金：小

- 青色申告などの勉強会の実施
- 各種イベントへ積極的参加
- 他の農業の集まりや異業種の会との交流

時間：大 お金：小

- メディアを活用（テレビ出演）して活動をアピール
- スポンサーを見つける
- 教育旅行の受け入れ

就農支援制度を紹介します

就農を希望する人には、国、県、村の支援制度があります。

■国

青年就農給付金事業

【準備型】農業大学校や都道府県が指定する先進農家・先進農業法人などで研修を受ける人に、年間150万円（最長2年間）を給付します。

【経営開始型】農業を始めてから経営が安定するまでの期間、年間150万円（最長5年間）を給付します。

■県

熊本県新規就農支援センター

新規就農に関する相談対応や研修会を実施します。

問い合わせ ☎ 096(385)2679

■村

新規就農奨励金

村内に居住する40歳未満の新規就農者に50万円を給付します（1回のみ）。

問い合わせ 産業振興課農業係 ☎ (32)1115

農愉会が目指すもの

農愉会では10月のある夜、会の将来について考えました。自分たちがやりたいことを自由に提案し、「お金」と「時間」の両面から、すぐに実行できるもの、時間はかかるけどやりたいものなどに振り分けていきました。これは役場の担当職員が提案したもので、結果をもとに、会の来年度の活動計画を立てるといってもいいです。

農愉会が目指すものは何なのか、これから農愉会が目指していくものは何なのか。この夜、あらためて明確にすることができたのではないのでしょうか。

産加工グループと加工品開発」「独自の肥料を作る」などです。簡単にできるものではありませんが、会員一人一人の農業にかける熱い思いが伝わってきます。

「時間もかからず、お金もかからないもの」では、「青色申告などの勉強会の実施」「各種イベントへ積極的参加」「他の農業の集まりや異業種の会との交流」などで、「会員一人一人がスキルアップを目指し、会を成長させていくために勉強する」という考えがうかがえます。

農愉会に足りないものは何なのか、これから農愉会が目指していくものは何なのか。この夜、あらためて明確にすることができたのではないのでしょうか。

「必死になる」ということ

農愉会の会員は、それぞれ同じことを話してくれました。「農業は頑張って努力した分だけ成果が出る」という言葉です。言い返せば「さぼったら失敗する」ということです。

それだけみんな必死に農業に向き合っています。時には努力しても、失敗することがあります。だけど、努力したうえでの失敗からは、多くのことを学ぶことができます。それが「必死になる」ということではないでしょうか。農愉会の会員は、みんな必死になって、農業にかけています。そんな姿は見ていて応援したくなります。

農・マイ・ライフ

高齢化や担い手不足、それに伴う耕作放棄地の増加など、本村の農業は、厳しい状況です。そのような中、農愉会という若手就農者の集まりが結成されました。これは村の農業の大きなチャンスです。しかし、農愉会の中だけで、今後の村の農業を考えるだけではいけません。先輩農業者、地域、行政が一つになって考えていくことで、将来、村の農業が明るくなるのではないのでしょうか。

農業にかける若手就農者の新しい人生は、まだまだ始まったばかりです。可能性も無限大です。これからの農愉会に注目していきましょう。



古里の歴史を学ぶ

歴史研究サークル



メモを取りながら古里の歴史を学ぶ参加者

生涯学習短期講座の歴史研究サークルが12月3日、球磨村コミュニティセンター清流館で開催され、参加者は古里の歴史について理解を深めました。

同講座は、普段は気付かない身近な地域の歴史に関する遺産や言い伝えについて学ぼうと歴史研究サークルが企画。村文化財保護専門員の田頭榮之介さんと富永知敬さんが講師を務めました。田頭さんは、橋詰観音堂にある村指定文化財の鰐口を紹介。富永さんは、人吉球磨の日本遺産構成文化財の相良三十三観音堂の一つである鵜口観音堂の歴史などを説明しました。

渡小4年市花あこさんが村長賞を受賞

税の習字表彰



表彰を受けた市花さん

11月11日から17日は、全国一斉の「税を考える週間」が展開され、本村では税にちなんだ習字作品の募集を行いました。

ことしは、村内の小学校から69点の応募があり、渡小4年の市花あこさんが村長賞を受賞しました。表彰式は12月4日に渡小で行われ、柳詰正治村長から市花さんに表彰状が手渡されました。

子どもたちの作品は、10月24日、25日に開催されたふれあいまつり‘くまむら’の会場でも展示され、たくさんの方が足を止めて鑑賞していました。

認知症への理解を深める

第1回家族介護教室

第1回家族介護教室が11月27日、地域住民24人が参加して吐合学習センターで開催されました。

「認知症」と「家族介護」をテーマにした同教室では、はじめに役場の地域包括支援センター職員から、認知症の原因や症状について詳しい説明がありました。認知症について理解を深めた後は、認知症の家族との接し方を、特別養護老人ホーム千寿園の職員が寸劇で披露しました。ユーモアを交えた寸劇からは、認知症の人と接するときには、面倒くさがらずに話を聞き、相手の主張を認め、工夫して接することを学びました。



寸劇の披露では参加者の皆さんも笑顔に

月足さおりさんのピアノ演奏に感動

スクールコンサート

「くまもと教育の日 in くまむら」のスクールコンサートが11月30日、一勝地小体育館で開催されました。

第1部では、渡小、一勝地小、球磨中の児童・生徒が合唱を披露しました。第2部では、2013年国際障害者ピアノフェスティバルで金賞を受賞した、あさぎり町在住の月足さおりさんによるピアノ演奏と講演がありました。月足さんは、せき髄空洞症という難病と関わってきた人生や、ピアノ演奏にかける思いなどを子どもたちに伝えました。最後は、全員で月足さん演奏の「ビリーヴ」という曲を歌いました。



全員で月足さん演奏の「ビリーヴ」を歌いました

新しい学習の機会を提供

地域未来塾



楽しい雰囲気で行われる英語の授業

球磨中では3年生を対象に10月から地域未来塾を開講しています。これは学力の格差をなくすために、学習の機会を提供するもので、放課後や土曜日などに英語と数学の授業を行っています。

12月11日の地域未来塾では、八代市中村塾の中村謙太郎先生による英語の授業がありました。中村先生は高校入試を控える生徒たちに、電子黒板などを利用しながら丁寧に指導。授業を受けた糸原樹哉くんは「分からないところを、より分かりやすく丁寧に教えてもらえる」と話していました。

新月の夜の一勝地を満喫

人吉球磨時感の旅 MONTH



一勝茶屋で田舎料理を味わう皆さん

『人吉球磨時感の旅 MONTH』の球磨村の旅は新月の12月11日、26人が参加して開催されました。

参加者は、午後6時に一勝地駅を出発し、一勝地地域内を歩いて散策。普段とは違った雰囲気を楽しみました。一勝茶屋では、農産加工グループあじさいの皆さん手作りの、ユズをふんだんに使った田舎料理が振る舞われました。食後には「新月の願掛け」でそれぞれ願い事を紙に書きとめました。最後に訪れた鬼ノ口棚田展望所では、竹灯ろうがともされた棚田を眺めて、幻想的な風景を味わいました。

村のスポーツ振興に貢献

県生涯スポーツ功労者・優良団体表彰

本年度、県生涯スポーツ功労者・優良団体として表彰された、渡バドミントンクラブコーチの笠場静信さん、渡ビーチボールバレークラブ、球磨F.ホークスが12月4日、受賞の報告で柳詰正治村長を訪問しました。

笠場さんは県民体育祭に30回出場、現在も指導者として活躍しています。渡ビーチボールバレークラブは昭和59年に設立し、昨年まで渡地区大会を開催するなど、地域のスポーツ振興に大きく貢献してきました。球磨F.ホークスは少年野球クラブで、昨年10周年を迎えるなど、村の少年野球の普及に努めてきました。



受賞の報告に訪れた皆さん

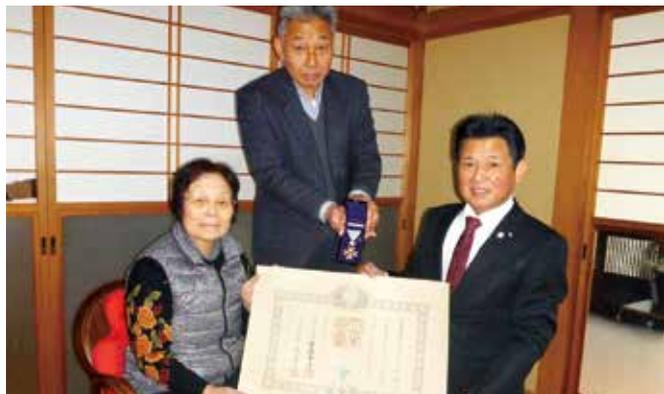
故伊津野吉郎さんに瑞宝双光章を授与

特別叙勲

特別叙勲で故伊津野吉郎さんに12月9日、瑞宝双光章が授与されました。

伊津野さんは、本村の職員を経て、昭和56年に収入役に就任し、平成10年までの4期16年間、行財政の円滑な運営や地方自治、地域経済の振興発展に尽力されました。

叙勲の伝達式は伊津野さんの自宅で行われ、柳詰正治村長が妻のルイ子さんと息子の忠希さんに伝達しました。忠希さんは「ありがとうございます。本人も喜んでいてと思います」と感謝の気持ちを述べました。



妻のルイ子さんと息子の忠希さん

お知らせ

たかおと、いきいき、健康塾

楽しく運動して健康づくりしてみませんか？

実施日・内容

① 1月22日(金)

シニア体幹うんどう塾

② 1月29日(金)

フットコンディショニング塾

時間 午前9時30分～午前10時30分

参加費 無料

持参物

① タオル・飲み物

② 大きいタオル2枚・飲み物

問い合わせ

住民福祉課地域包括支援係

☎(32)1112

20歳になったら国民年金に加入しましょう

国民年金は、老後やいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた制度です。

○国民年金のポイント

① 将来の大きな支えになります。

国民年金は20～60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任を持って運営するので、安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

② 老後のためだけのものではありません。

せん。

国民年金には、老齢年金のほか病気やけがで障害が残った場合に受け取れる障害年金や、加入者が亡くなった場合に、その配偶者や子が受け取れる遺族年金があります。

○20歳になる人の国民年金加入手続

① 「国民年金被保険者資格取得届」と「国民年金加入対象者調査票」を提出ください。

20歳になったら、日本年金機構から用紙が届きますので、必要事項を記入し年金事務所か役場住民福祉課に提出してください。また、保険料の免除や学生納付特例の申請を同時に行うことができます。

② 「年金手帳」が届きます。

基礎年金番号の確認と年金の加入状況を記録するためのものです。大切に保管ください。

③ 「国民年金保険料納付書」が届きます。

保険料は、毎月、金融機関やコンビニで納めるほか、口座振替やクレジットカード納付も可能です。
※20歳になる前から厚生年金や共済年金に加入している人には、年金手帳や納付書の発送はされません。

問い合わせ

八代年金事務所

☎0965(35)6123

住民福祉課住民係

☎(32)1112

いよいよマイナンバーを利用した業務が始まります

平成28年1月からマイナンバー(個人番号)を利用した業務が始まります

国、県、市町村役場の社会保障、税、災害対策の業務を取り扱う窓口では、必要に応じてマイナンバーを届け出てくださいになります。関係窓口から依頼がありましたら、すでに受け取った「通知カード」をご持参のうえ、届け出てください。通知カードを受け取っていない世帯の皆さんへ

不在などの理由で配達されず、郵便局から返戻された通知カードは、役場住民福祉課住民係で預っていますので、早めに住民係の窓口で受け取ってください。

受け取りの際は、印鑑と運転免許証などの本人確認ができる書類をご持参ください。受け取りは、世帯主に限らず世帯員でも可能ですが、世帯員以外の人が代理で受け取る場合は委任状が必要です。あらかじめ住民福祉課住民係にご相談ください。

問い合わせ

住民福祉課住民係

☎(32)1112



住宅用火災警報器の維持管理は大丈夫ですか？

① 定期的に作動するかどうか点検しましょう

定期的(月に一度が目安)に、住宅用火災警報器が鳴るかどうかテストしてみましょう。長期に家を留守にしたときも、住宅用火災警報器が正常に動かないかテストしましょう。

点検方法は、本体のひもを引くものや、ボタンを押して点検できるものなど、機種によって異なりますので、取扱説明書を見て点検方法を確認しましょう。

② おおむね10年を目安に、機器の交換が必要です

住宅用火災警報器の設置義務化から、来年で10年を迎えます。住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じなくなることがあるので、おおむね10年を目安に機器本体を交換する必要があります。機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか、本体に記載されている製造年の確認をお願いします。また、「ピー」という音などで交換時期を知らせる機種もあります。詳しくは、取扱説明書を確認してください。

③ 電池交換の時期

電池の寿命はおおむね5～10年が目安となります。電池の寿命が近づくと短い音で「ピッ：ピッ：」と一定の間隔で鳴ったり、音声やランプ

表示などで電池交換時期を知らせて
りますので、新しい電池と交換し
てください。

※新しい電池に交換する際は、販
売店などで電池の種類をご確認くだ
さい。

これまで、住宅用火災警報器を設
置していたことで、大切な命や財産
が救われた事例が数多く報告されて
います。まだ設置していない場合は、
住宅火災から大切な命を守るため、
一日も早く設置しましょう。

問い合わせ

人吉下球磨消防組合中央消防署

☎(22)5241

西分署

☎(32)0119

第2回家族介護教室

村では高齢者を介護している家族
や介護に興味のある人を対象に、介
護の方法や心身のリフレッシュ、介
護者の交流を目的に家族介護教室を
開催します。

期日 1月27日(水)

時間 午後2時～午後3時30分

場所 神瀬福祉センターたかおと

内容 「ストレスケア」

リラクゼーション・介護予防体操

講師：高山 裕子 さん

参加費 無料

問い合わせ

特別養護老人ホーム千寿園

☎(33)0011

相談

心の悩み相談

臨床心理士が、さまざまな心の悩
みの相談に応じます。

*臨床心理士とは人間の『こころ』
の問題に対応する『心の専門家』
です。

期日 1月21日(木)

時間 午後1時30分～午後4時30分

場所 役場や自宅

※相談は予約制です。まずは電話で

住民福祉課福祉係までお申し込み
ください。

相談内容

出産の不安・子どもの発達の心配、
子育ての悩み・子どもの不登校・介
護疲れ・借金問題・家庭(家族)の
心配ごと・キャンセルやアルコー
ル、買い物にのめり込んでやめられ
ない・職場・学校の対人関係の悩み・
憂鬱な気分が続く・眠れない・家庭
内暴力(妻、夫、恋人、子ども)など
申込先・問い合わせ

住民福祉課地域包括支援係

☎(32)1112

心の健康相談

受付時間

午後2時～午後3時(要予約)

※1回につき2人まで

1月の日程

14日(木)

担当医：村上 良慈 医師

場所：人吉保健所

22日(金)

担当医：村田 良介 医師

場所：多良木町保健センター

問い合わせ

人吉保健所保健予防課

☎(22)3107

行政相談

期日 1月15日(金)

時間 午前10時～正午

場所 球磨村コミュニティセンター

清流館 第2会議室(役場隣)

対応者 毎床 喜代利 委員

問い合わせ

総務課総務係

☎(32)1111

募集

第10回関西カワセミ会に参加 しませんか

第10回関西カワセミ会が開催され
るにあたり、球磨村からの参加者を
募集します。

期日 2月13日(土)

時間 午後0時30分～午後2時30分

場所 京都タワーホテル

会費 全額助成します。

申込締切 1月29日(金)

その他

当日は、現地集合・現地解散とし、
交通費などは自己負担となります。

申込先・問い合わせ

企画振興課山村振興係

☎(32)1114

イベント

田舎の体験交流館さんがうら イベント案内

①どんどこ

期日 1月10日(日)

時間 午後1時30分～火入れ

場所 田舎の体験交流館さんがうら

参加費 無料

申込締切 1月7日(木)

②味噌作り体験

期日 1月31日(日)

時間 午前10時～午後1時

場所 田舎の体験交流館さんがうら

参加費 4千円(昼食代込み)

定員 20人

申込締切 1月28日(木)

その他

エプロン・三角巾は各自、持参し
てください。体験終了後、出来立て
の味噌(3キログラム)をお持ち帰りいた
だけます。

申込先・問い合わせ

田舎の体験交流館さんがうら

☎(32)0443

水道管を寒さから守りましょう！

冷え込みが厳しくなると、屋外に露出している水道管が凍ってしまい、破損する恐れがあります。特に12月から2月にかけては、宅地内での破損や漏水などが多く確認されています。宅地内の水道管チェックに心掛けましょう。

家庭での凍結防止策

◆水道管を凍結から守る

露出している水道管は、保温材を巻くなどして、寒気にさらさないようにしましょう。



また、水道メーターの凍結を防ぐため、ボックスの中に保温材やビニール袋に詰めた布きれなどを入れて保温に心掛けましょう。

凍結した時の解氷方法

◆解氷時の注意点

直火による解氷は、火災の危険がありますので避けてください。凍結部分に熱湯を直接かけると、器具類を破損させるので注意しましょう。



◆ぬるま湯による解氷方法

凍結部分を布などで覆い、ぬるま湯をかけてください。解氷後、凍結破損していないか確認しましょう。

水道管が破損したら？

◆まずは止水栓を閉める

水道管が破損したら、大量の水が漏れる恐れがありますので、修理を依頼される前に止水栓を閉めてください。(止水栓はメーターボックス内にあります)



◆次に、修理を依頼する

球磨村指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください(工事業者が分からない場合は、役場健康衛生課に連絡してください)。

漏水の確認方法

①宅地内の全ての蛇口を閉めてください。

②水道メーターのパイロット(写真中の囲み部分)を確認してください。

③パイロットが回転してなければ、

漏水はありません。回転している場合は、メーターから蛇口までの間で漏水していますので、球磨村指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。



問い合わせ 健康衛生課生活環境係 ☎(32)1139

包括だより

地域包括支援センター(住民福祉課内) ☎(32)11112

【訪問調査】

○調査員が訪問し、立ち上がり歩行、物忘れなどについて調査し、調査票を作成します。

【意見書】

○役場からの依頼で、かかりつけ医が意見書を作成します。

② 要介護認定

○介護認定申請は、家族や民生委員、介護サービス事業者が本人に代わって申請することができます。まずは電話でご相談ください。申請手順は村ホームページにも掲載しており、申請書はダウンロードできます。

① 申請

○役場で「要介護認定」の申請を行います。

【認定】

○介護認定審査会の結果をもとに村が認定を行い、本人に通知します。

【介護認定審査会】

○調査票と主治医意見書をもとに、介護が必要か判定します。

地域包括支援センターでは、さまざまにご相談を受け付けていますが、中でも介護認定の相談が多くあります。そこで介護認定から介護サービスを受けるまでを今月から3回に分けて紹介します。今月号は「申請から認定までの流れ」です。

→

ことし一年、地域包括支援センターにご協力いただき、ありがとうございました。

→

「芋掘りに行ってきました」 〈こがね保育園〉

「ことしも芋掘りに来なれんですか〜」と園児のおじいさんから誘いがあり、山江に行ってきました。バスを借りて子どもたちも胸わくわくで出発！広い芋畑に着くと、ふかふかの土の中に何やら大きな影、子どもたちの目は輝き一目散に掘り始めていました。

保護者の皆さんも楽しそうに掘っていて、あっという間にお芋の山になりました。「こっちもよかですよ〜」と次は大根畑！大根も引き抜いて、しっかり土の感触を楽しむことができました。芋掘り以降、おやつの中には、お芋がちょく

ちょく姿を見せ、子どもたちも自分たちで掘ったお芋に「おいしいね」と満足気な顔で食べています。

毎年誘っていただくおじいちゃんの優しさ感謝しています。

さて、ことしも残りわずかとなりました。多くの皆さんに温かく見守られ応援していただきながら、さまざまな経験とおして元気に成長している子どもたち。来年もきらきら輝く一年となるよう職員一同頑張って保育にあたりたいと思います。



【3カ月児・6カ月児健診】



球磨村のかわいい赤ちゃんたちです！



陽だまり 1月行事予定

- 9日(土) りんごの木サークル
 - 13日(火) 陽だまりサロン
 - 19日(火) 陽だまりサロン
 - 21日(木) 3カ月児・6カ月児健診
 - 26日(火) 陽だまりサロン
- *都合により変更する場合がありますのでご了承ください。

陽だまりサロンでは、毎回、育児講座やフリートークなど、球磨村で子育て中の親子やママニティーの皆さんで楽しく過ごしています。上記の日程をご覧の上、どうぞお気軽にご参加ください。お待ちしております！（初めて参加する人は電話でご連絡ください）

【陽だまりサロン】



“簡単！パン作り”



“ママ誕生会「おにぎらず」作り”



“癒しのヨガ”



“手足型のコラージュ”

住民で支え合う仕組みづくり

第4回球磨村生活支援サポーター養成講座

本年度4回計画してまいりました生活支援サポーター養成講座も、12月6日で最後の講座を終了しました。たくさんの方々にご参加いただき本当にありがとうございました。

第4回目講座には、合志市社会福祉協議会・熊本県社会福祉協議会から講師を招き、石の交流館やまなみで開催しました。

前半は、合志市社協職員で構成する「はってん組」による啓発劇『助けとるじゃなか、俺が助けてもらおう』がありました。身体が不自由にならず、洗濯や掃除が思うようになり、自宅はゴミ屋敷、訪問客もいなくなり閉じこもるようになったお年寄りを、生活支援サポーターや地域の人で支えていくという内容でした。後半は、合志市社協の成瀬事務局長による「合志市社協の活動内容について」の講演がありました。

球磨村社協としても、今後、地域で座談会などを開催しながら「住民同士で支え合う仕組みづくり」を推進していきます。



“はってん組”による啓発劇『助けとるじゃなか、俺が助けてもらおう』



合志市社協 成瀬局長による講演『合志市社協の活動内容について』

“のじりこぴあ”で交流を深めました



みんなで記念写真



笑顔で楽しみました



社協の槻木君は人気者です

ひとり親家庭を対象に11月22日、「一日ふれあい」行事を開催しました。今回は、宮崎県小林市の「のじりこぴあ」に行き交流を深めました。広々とした敷地には、いろんな乗り物やアスレチックなどの遊具、昔ながらの竹馬や卓球場などがあり、子どもから大人まで楽しめた一日となりました。

デイサービスの風景



高齢者生活福祉センターせせらぎと神瀬福祉センターたかおとでは、西分署による指導で消防訓練を実施しました。

寄せられた善意

社会福祉協議会へご遺族の皆さんから香典返としてご寄付をいただきました。皆さんのお気持ちを大切に役立てます。

〔11月分〕

犬童 繁美様（故繁男）

松舟 成吾様（故茂）

中園 義勝様（故アツ子）

松野 辰巳様（故カホル）

舟守 照子様（故松江國弘）

日當 秀親様（故又男）

川口 恭子様（故一雄）

西 和弘様（故アツ子）

〔一般寄付〕

熊建労球磨村分会様

◆ 11/14 全国青年大会合唱の部

最優秀賞を受賞しました!!

全国青年大会合唱の部が11月14日、東京都で開催され、球磨村青年団が最優秀賞を受賞しました!

球磨村青年団は、9月にあさぎり町須恵文化ホールで開催された熊本県総合青年祭合唱の部で優勝し、全国に

向けて練習をしてきました。熊本県、全国共に良い成績を残すことができました。

全国大会に出場するにあたり、物品販売のご協力やご支援をしていただき、ありがとうございました。



文芸の広場

※原稿は、毎月10日までに企画振興課へ提出してください。

【肥後狂句】

ほくそ笑み そつとへそ繰り数えらす
どこか変 天変地異の多過ぎる

思う存分 愚痴聞いてやる里の親
もういいの 寿命のしこは生きたけん

馬鹿な奴 濡れ手に粟のあるもんか
くされ縁 弱み握られましてねエ

ナツメロで 握ったマイク離されん

日當山岳

【川柳】

年の暮れ 貧乏神を 掃きちらし
大晦日 拍子木の音 神秘感

除夜の鐘 心ゆさぶり 消えて行き
お天氣の 変化で出来ぬ 干し大根

北風よ 吹いて乾かす つるし柿
ムジナ達 ゆりの球根 たべつくし

認知症 パスしてもらう 免許証

上村義喜

藤フクエ

カヅ子

【短歌】

真つ赤な実 こぼれるような 数珠サンゴ
種から蒔きつぎ 命をつなぐ

たそがれの 山の稜線 みとれたり
今年も暮れいく 悲喜こもごもと

修業僧の 朝の読経 想いつつ
我に静かな 秋の夜更ける

卒寿なる 夫の介護に 明け暮れし
下の世話には 恥かし素振り

失語症の 夫が色々 語り来る
理解に苦しむ 介護の吾は

犬童幸子

山本露子

可津子

戸籍の窓

11月届け出分(敬称略)

▼お誕生おめでとう

氏名 保護者 地区
川内 桜愛 幹一 四蔵

▼お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	地区
日當 又男	82歳	日當
松野 カホル	81歳	松野
川口 一雄	82歳	大瀬
松江 國弘	92歳	告

人口・世帯の動き (12月1日現在)

人口		前月比
世帯数(戸)	1,536	- 2
人口(人)	3,993	0
男性(人)	1,888	0
女性(人)	2,105	0
高齢化率(%)	40.6	



1人あたりの栄養価
エネルギー：255kcal たんぱく質：3.6g 脂質：19.1g 塩分：0.2g

健康衛生課 管理栄養士 富永明希江

【材料（4人分）】

生クリーム（デザートホイップでも可）…200ml 牛乳…100ml 砂糖…30g ゼラチン…4～5g 果物…お好みで入れてください

【作り方】

- ①鍋に生クリーム、牛乳、グラニュー糖を合わせて、泡立て器でよくかき混ぜながら、グラニュー糖が完全に溶けるまで中火で加熱する。
- ②沸騰直前で火を止め、粉ゼラチンを加え、完全に溶けるまでよく泡立て器で混ぜる。
- ③型に注ぎ入れ、冷蔵庫で冷やして、出来上がり！

1月 乳幼児健診

問い合わせ 健康衛生課保健予防係 ☎(32) 1139

● 3カ月児、6カ月児健診

健診	対象者	日程	場所
3カ月児	平成27年8月6日～平成27年10月21日生まれ	21日(木)	渡多目的集会施設
6カ月児	平成27年4月1日～平成27年5月31日生まれ		

受付時間 午後1時～午後1時15分 内容 小児科健診、身体計測、子育て・栄養相談
持参物 母子健康手帳、問診票、バスタオル、お出かけセット（ミルクやおムツ、着替えなど）

● こども歯科健診・フッ素塗布

健診	対象者	日程	場所
1歳	平成26年11月1日～平成27年2月28日生まれ	28日(木)	渡多目的集会施設
2歳	平成25年6月1日～平成25年9月30日生まれ		

受付時間 午後指定時間 内容 歯科健診、個別相談、希望者にはフッ素塗布
持参物 母子健康手帳、問診票、フェイスタオル ※上記の対象者以外の人もお呼びすることがあります。

1月 年金相談会

問い合わせ 八代年金事務所 ☎0965(35)6123 / 住民福祉課住民係 ☎(32) 1112

八代年金事務所による年金相談会が次のとおり開設されます。お気軽にご相談ください。

場所	日程
人吉市消費生活センター	4日(月)・8日(金)・15日(金)・18日(月)・22日(金)・25日(月)・29日(金)
錦町温泉センター	6日(水)・20日(水)
多良木町多目的研修センター	13日(水)・27日(水)

予約受付時間 午前9時～午後5時

※3日前までに予約が必要ですので、年金手帳を準備の上、八代年金事務所までご連絡ください。なお、予約は先着順となりますので、相談者が多い場合はご希望に添えない場合もあります。

1月 休日在宅当番医

※都合により変更になる場合がありますので、受診する人は事前に医療機関にご確認ください。

1日(金)	横山医院 (多良木町)	☎(42) 2132	11日(月)	犬童耳鼻咽喉科 (多良木町)	☎(43) 0777
	小川整形外科医院 (錦町)	☎(38) 3455		岩井クリニック (あさぎり町)	☎(49) 2181
	たかはし小児科内科医院 (人吉市)	☎(24) 2222		増田クリニック小児科 (人吉市)	☎(22) 3570
2日(土)	仁田畑クリニック (多良木町)	☎(42) 1123	17日(日)	そのだ医院 (湯前町)	☎(43) 2063
	脳神経外科小林クリニック (錦町)	☎(38) 5670		犬童内科胃腸科医院 (あさぎり町)	☎(43) 0777
	公立多良木病院小児科 (多良木町)	☎(42) 2560		たかはし小児科内科医院 (人吉市)	☎(24) 2222
3日(日)	たかの眼科 (あさぎり町)	☎(47) 2550	24日(日)	こんどう整形外科 (あさぎり町)	☎(45) 6555
	緒方医院 (相良村)	☎(35) 0131		高田内科医院 (錦町)	☎(38) 3677
	人吉医療センター (人吉市)	☎(22) 2191		権頭医院 (相良村)	☎(36) 0008
10日(日)	東病院 (あさぎり町)	☎(45) 5711	31日(日)	やまむら医院 (あさぎり町)	☎(45) 0005
	増田耳鼻咽喉科クリニック (あさぎり町)	☎(45) 8001		古城クリニック (水上村)	☎(44) 0321
	やまむら医院 (あさぎり町)	☎(45) 0005		田中医院 (錦町)	☎(38) 0061
				増田クリニック小児科 (人吉市)	☎(22) 3570

1月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 元旦	2
3	4 球磨村成人式 午前10時～(清流館)	5 球磨村消防団出初式 午前10時～(運公)	6	7	8	9
10 さんがうら「どんどや」 午後1時30～(さんがうら)	11 成人の日	12 区長文書	13	14	15 行政相談 午前10時～正午(清流館)	16
17	18	19	20	21 3カ月児、6カ月児健診 午後1時～(渡多) こころの悩み相談 午後1時30分～午後4時30分(清流館)	22 たかおと「いきいき」 健康塾 午前9時30分～午前10時30分(たかおと)	23
24	25 区長文書 (広報くまむら発行)	26	27 第2回家族介護教室 午後2時～午後3時30分 (たかおと)	28 こども歯科健診・フッ素 塗布 午後指定時間～(渡多)	29 たかおと「いきいき」 健康塾 午前9時30分～午前10時30分(たかおと)	30
31 さんがうら「味噌作り 体験」 午前10時～午後1時(さ んがうら)						

各施設の略称

清流館……球磨村コミュニティセンター清流館
 渡多……渡多目的集会施設
 神多……神瀬多目的集会施設
 せせらぎ……高齢者生活福祉センターせせらぎ
 たかおと……神瀬福祉センターたかおと

やまなみ……石の交流館やまなみ
 かわせみ……一勝地温泉かわせみ
 運公……球磨村総合運動公園
 さんがうら……田舎の体験交流館さんがうら
 渡保……渡保保育園

こがね……こがね保育園
 神保……神瀬保育園
 渡小……渡小学校
 一小……一勝地小学校
 球中……球磨中学校

* 球磨村公民館図書室 * Kuma Village Library

問い合わせ 教育委員会 ☎(32)1117

球磨村公民館図書室では、1回につき1人2冊まで、2週間のレンタルができますのでぜひご利用ください。

受付日 月曜～金曜(祝日を除く) 受付時間 午前8時30分～午後5時

おすすめ



土佐堀川 広岡浅子の生涯

古川智映子/著

近代日本の夜明け、未だ女性が社会の表舞台に踊り出る気配もない商都大坂に澆刺たる女性がいた。大坂の豪商を切り盛りし、日本女子大学の創立にも関わった広岡浅子の生涯を描く。連続テレビ小説「あさが来た」の原案になった小説。



下町ロケット2 ガウディ計画

池井戸潤/著

ロケットのエンジン部品開発で倒産の危機を切り抜けてから数年。町工場・佃製作所は、またしてもピンチに陥っていた。そんな時、多くの心臓病患者を救う医療機器「ガウディ」の開発依頼が持ち込まれ…。ロケットから人体へ―佃製作所の新たな挑戦!



球磨村駅伝チーム



6区 井本恵理香選手



1区 地下翔太選手から
2区 佐々木瑠希選手へ



4区 小川晃聖選手



8区 水篠友哉選手

Smile

～笑顔で輝く球磨人～

目標の一桁順位で、笑顔の花咲く。 来年はさらに上を目指す!!

vol.22

- 【総合成績】
- 1位 錦町A
 - 2位 あさぎり町A
 - 3位 人吉市A
 - 8位 球磨村A

球磨村は、1区の地下翔太選手が1位で佐々木瑠希選手にたすきをつなぎました。その後、順位を落とすも、各選手が粘りの走りで、一桁順位をキープ。しかし、第7中継所、山下雄大選手から水篠友哉選手への最後のたすきが、繰り上げスタートによりつながりませんでした。それでも水篠選手は、最後まで力走してゴールしました。

総合成績は第45回大会以来18年ぶりの一桁順位となり、各選手からは最高の笑顔があふれていました。来年は、最後までたすきをつないで6位以内入賞。新たな目標に向けて、一致団結した球磨村チームに今後も注目です。

第63回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会が12月20日、人吉城ふるさと歴史の広場前をスタート・ゴールに全8区間52・95キロのコースで行われました。今大会には、人吉球磨10市町村から全21チームが参加し、球磨村が8位と健闘しました。

一生懸命何かに挑戦している人、頑張っている人、楽しんでいる人など、日々笑顔で輝いている球磨人を募集しています。自薦・他薦は問いません。応募する場合は、企画振興課企画広報係までお問い合わせください。たくさんの『笑顔』をお待ちしています。

問い合わせ 企画振興課企画広報係 ☎(32)1114

編集後記

先日、同級生から「編集後記があまりおもしろくない」とダメ出しがありました。同級生も読んでいるんだなと思ふと、いつそう気が抜けませんね。以後気を付けます。

11月23日に行われたエメラルドグリーンウォークには、本当に多くの人に参加していただきました。私は車で移動しながら取材をしていたので、まったく歩きませんでした。来年は減量のために歩いて参加したいと思います。

ことしもあつという間に終わろうとしています。一年間、「広報くまむら」をご愛読いただき、本当にありがとうございます。それでは良いお年をお迎えください。



エメラルドグリーンウォーク
一勝地阿蘇神社での紅葉コンサート